

健康ぷらざ

No.540

企画:日本医師会

子どもの予防接種は スケジュールどおりに 受けましょう！

「ワクチンデビュー」は生後2カ月からです！

子どもの予防接種スタートは生後2カ月からです。

乳幼児の細菌性髄膜炎や肺炎、ロタウイルス胃腸炎、

B型肝炎を同時に接種することから始まります。

予防接種は、定められた時期に

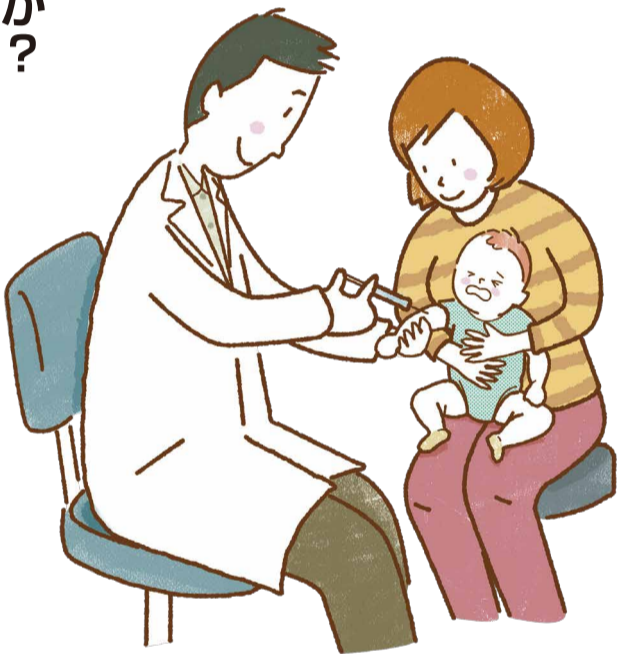
接種することが

もっとも効果があります。

新型コロナウイルス感染症への

感染を警戒して、予防接種の

スケジュールが乱れていませんか？



安心して予防接種を受けるために

- ① かかりつけ医をもちましょう。
- ② 生後2カ月から接種が始められるように、あらかじめ予約をしておきましょう。
- ③ 予防接種を受ける時には、すべて予約を取りましょう。
医療機関では、他の患者さんと一緒にならないように
時間と空間を分ける工夫がされています。
- ④ できる限り同時接種で受けましょう。
異なるワクチンを同時に接種することが勧められています。
- ⑤ かかりつけ医でワクチンスケジュールを立ててもらいましょう。
- ⑥ 1歳で接種する麻疹・風疹混合ワクチンなども、時期をずらさず受けましょう。
- ⑦ 幼稚園・保育園の健診で接種漏れを指摘されたら、速やかに受けましょう。

予防接種で受診する時に、普段気になっていることも相談してみましょう。

指導:吉村小児科 院長 / 小石川医師会 副会長 内海 裕美

日本医師会ホームページでは、健康ぷらざのバックナンバーがご覧いただけます。



日医

バーコード読み取り機能付き
携帯電話もしくはスマートフォン
でご利用になれます。